



マルチビリング システム

伝票は企業の重要な情報源であり、伝票発行は事務処理の基本でありながら、機械化が遅れて、今日では業務の停滞、事務費増大の要因となり、担当・管理・経営各部門からそのシステム化が強く要請されてきた。

日立製作所は業界に先がけて、小形電子計算機HITAC 10 IIを中央処理装置としたマルチビリング システムを開発、伝票発行のスピード化、正確化、省力化に大きな効果を挙げるとともに、その在庫管理機能によって業務全体の管理効率を大幅に向上させた。

本システムの構成は、HITAC 10 IIに伝票発行用のデータ タイプライタ複数台と問合せ用タイプライタを接続し、別に通信回線を介して商品倉庫にデータ タイプライタをおいたもので、基本的な機能は、(1)伝票発行、(2)伝票データの収集、(3)在庫問合せ、(4)オンライン出荷指示、(5)管理資料作成の五つが挙げられる。

まず、営業からの販売メモに基づいてタイプライタから伝票データが打ち込まれると、処理装置は、データの項目ごとにチェックを行ない、正しいデータは所定のフォーマットに従って編集され、伝票用紙に印字される。本システムは多数のチェック機構を備え、パンチミス、書込みミスなどによる誤伝票は解消する。

中央処理装置は、複数台のタイプライタを一括して制御し、データがランダムに入ってくるのに、それらを項目

ごとに独立に扱い、フォーマットの選択、ファイルの検索・照会、データの編集など同時に行なって伝票を作成する。これと同時に、倉庫の端末タイプライタにデータが送信され、自動的に出荷指示書が打出される。

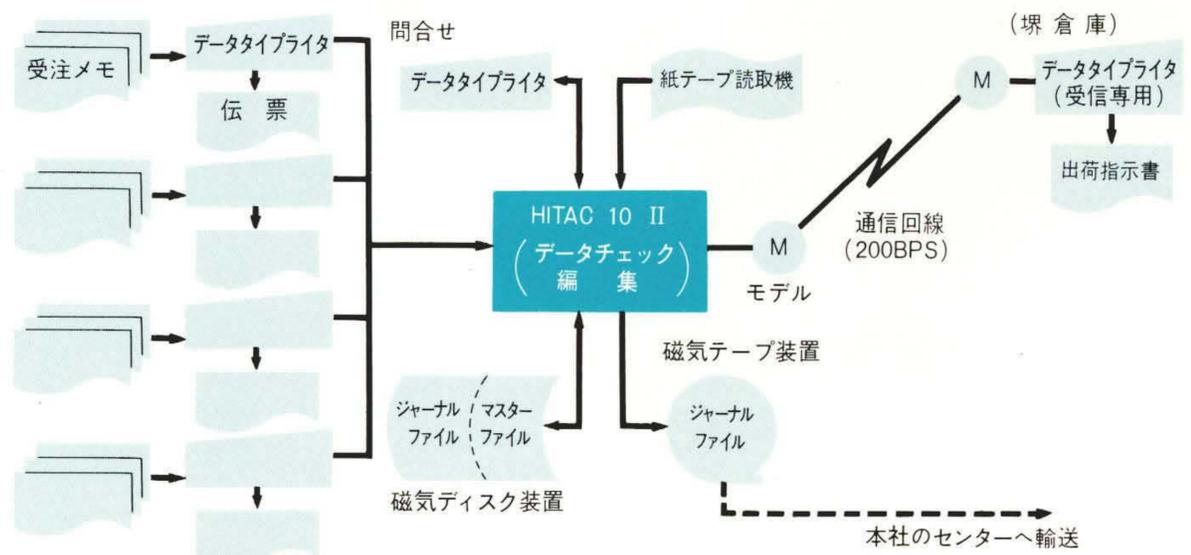
営業先から在庫について照会があると、問合せ用タイプライタを通じて、即座にファイルの内容を調べ、その有無が回答される。また一方、伝票発行と同時に、そのデータはジャーナルとして磁気ディスクにファイルされ、バッチ処理によって販売、在庫など日報類が作成される。また磁気テープに出力され、大形電子計算機にかけることも可能である。

このようにマルチビリング システムは、これまでの伝票発行機能を大幅に拡大し、効率のよい伝票発行、入・出力データの精度向上、タイピストの省

力化などを実現し、更に生産から販売、経営管理に至るまでの全社的な企業活動の効率化にも大きく貢献する。

HITAC 10 IIのマルチビリング システムは、多くの会社に採用され実績を上げているが、ブリヂストンタイヤ株式会社大阪支店に採用された本システムの場合は、BS-MOSS (マルチビリング オンライン サービス システム) と呼称され、2,000種に上る製品の流通サービスに大きな役割を果たしている。

HITAC 10 IIのマルチビリング システムは、ユーザーの規模目的に応じた最適のシステムを経済的に構成できるのが特色である。なお、本システムは新機種として発表された HITAC 20のアプリケーションとしても応用できる。



BS-MOSSのシステム構成